

尚美学園大学芸術情報学部研究紀要投稿ガイドライン

2021年12月21日改訂

2019年11月26日制定

尚美学園大学メディア・紀要委員会

0. はじめに

芸術情報学部は「芸術」と「情報（コンピュータ）」をキーワードとする学部である。芸術情報学部の紀要論文では、主に芸術表現に関する論文や作品解説、研究ノート等を掲載する。

1. 投稿資格

執筆者は本学の専任教員、非常勤講師、大学院生とする。

なお、編集委員会の承認により、共同執筆者には上記以外の者を含むことができる。

2. 投稿条件

- ・未公刊に限る。
- ・紀要は本誌を冊子体での刊行のほか、本学の学術情報リポジトリで公開し、掲載はファミリーネームのアルファベット順とする。

3. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類を下記から選び、投稿申込書の原稿種類の欄に明記すること。

- ① 論文・作品・・・独創的かつ新規な結論を持つ論述。新規性または独自性のある作品に関する解説。作品を解説する場合、自作の作品の解説の他、自作ではなくても解釈が他の研究者に見られない新規性がある場合は可。
- ② 研究ノート・・・結論に至らない「報告」「資料」「データ」「解説」「事例研究」等。
- ③ 翻訳
- ④ 書評

4. 投稿要項

- ・本文は原則として日本語または英語とし、横書きとする。
- ・提出原稿はA4版で作成したレイアウト済みの原稿とする。なお、提出に当たっては、MS-WORDデータとPDFデータをメディア紀要委員会（art-bulletin@s.shobi-u.ac.jp）に電子メールで送付すること。カラー画像が多いなどの理由によりファイルサイズが大きくなり、メールで送付できない場合は、インターネット上で共有するなどの方法を取り、その旨メディア紀要委員会に連絡すること。
- ・原稿の査読および編集業務は委員会が行う。執筆者は委員会からの査読または編集に関わる修正を含む問い合わせに速やかに対応するものとする。
- ・書式

和文原稿／ページ設定：一行【40文字】行数【40行】余白【上下左右各3.0cm】

フォントサイズ【10.5ポイント】

英文原稿／ページ設定：行数【40行】余白【上下左右各3.0cm】フォントサイズ【10.5ポイント】

- ・原稿の長さは最大20ページを目途とする。

- ・原稿の1ページ目には、次の項目を含むこと。但し、本文が英語表記の原稿は全て英文のみとする。

表題：（副題を含む）は和文と英文を併記し、和文、英文の順とする。

氏名：日本語表記および英語表記[family name, first name]の順とする。

概要：和文概要（400字程度）並びに英文概要（100語程度）

なお、概要は和文、英文の順とする。

キーワード：和文と英文それぞれ6個以内とする。

- ・章立ては以下による。

序論（はじめに etc.）

本文（項目ごとに1、2、3、…と見出しを立て、それぞれの項目内でも、必要に応じて、小見出しを付けるなど。本学リポジトリの紀要論文等参照。）

結論（むすび etc.） 引用文

- ・引用文献は末尾に下記の様式で本文引用順に提示する。

なお、本文での引用は番号と閉じ括弧を上付きで表示する。

（例：引用の例1）） 日本語文献

著作：著者名『書名』出版社名、出版年、頁。

訳書：著者名『書名』訳者名、出版社名、出版年、頁。

論文：著者名「論文名」『雑誌名』巻数（号数）、出版社、出版年、頁。

- ・外国語文献

著作：Author's Surname, First name, *Name of the Book*. Place of publication, Publisher, page.

論文：Author's Surname, First name, "Title of the Paper". *Name of the Journal*, volume, number, Place of publication, Publisher, page.

引用文献の例：

1) 海部洋介『人類がたどってきた道“文化の多様化”の起源を探る』日本放送出版協会、2005年、72-5頁。

2) ゴンブリッチ, E. H. 『美術の歩み 上』友部直訳、美術出版社、1972年、68頁。

3) Hartshorne, Charles, *Born to sing: An Interpretation and World Survey of Bird Song*. Bloomington, Indiana University Press, 1973, pp.101-9.

4) Robinson, Jenifer, "Music as a Representational Art". *Philosophy of Music*, vol.2, 14, New York, Haven Publication, 1987, p.186.

- ・図表等におけるカラー印刷の使用は必要最低限におさめるものとする。

注意 絵画・写真等を含む論文では、執筆者の申し出に応じて、コート紙類の使用を検討する。

5. 著作権

- ・掲載された論文等の著作権は著者に帰属する。本紀要に投稿された論文等が、第三者の権利等を侵害した場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負うものとする。
- ・本紀要に掲載された論文等を、他に転載する場合には本紀要に掲載されている旨を明記しなくてはならない。